【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2011-41794(P2011-41794A)
【公開日】平成23年3月3日(2011.3.3)
【年通号数】公開・登録公報2011-009
【出願番号】特願2010-127355(P2010-127355)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２９
Ａ６３Ｆ　7/02　３５４

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月13日(2011.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
記憶媒体と、この記憶媒体と通信可能であり、遊技機に対応して設けられている情報処理装置と、各情報処理装置と通信可能に接続されている管理装置からなる景品交換システムであって、
前記記憶媒体は、
景品交換情報を記憶する景品交換情報記憶手段を有し、
前記情報処理装置は、
前記遊技機での遊技の結果、遊技者の保有となった遊技媒体数である持玉数を記憶する持玉数情報記憶手段と、
当該持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数を上限として、景品交換に必要な交換遊技媒体数及び景品交換情報の入力を受け付ける入力手段と、
前記持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数から、前記入力手段で受け付けた交換遊技媒体数を減算し、減算後の持玉数を前記持玉数情報記憶手段に記憶させる制御を行う制御手段と、
前記入力手段で受け付けた景品交換情報を前記記憶媒体に書き込む書き込み手段とを有し、
前記管理装置は、
景品情報を記憶する景品情報記憶手段と、
景品交換情報に基づいて、前記景品情報記憶手段に記憶されている景品情報を更新する演算手段とを有することを特徴とする、景品交換システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前記目的を達成するため、請求項１の発明では、記憶媒体と、この記憶媒体と通信可能であり、遊技機に対応して設けられている情報処理装置と、各情報処理装置と通信可能に接続されている管理装置からなる景品交換システムであって、

前記記憶媒体は、
景品交換情報を記憶する景品交換情報記憶手段を有し、
前記情報処理装置は、
前記遊技機での遊技の結果、遊技者の保有となった遊技媒体数である持玉数を記憶する持玉数情報記憶手段と、
当該持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数を上限として、景品交換に必要な交換遊技媒体数及び景品交換情報の入力を受け付ける入力手段と、
前記持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数から、前記入力手段で受け付けた交換遊技媒体数を減算し、減算後の持玉数を前記持玉数情報記憶手段に記憶させる制御を行う制御手段と、
前記入力手段で受け付けた景品交換情報を前記記憶媒体に書き込む書き込み手段とを有し、
前記管理装置は、
景品情報を記憶する景品情報記憶手段と、
景品交換情報に基づいて、前記景品情報記憶手段に記憶されている景品情報を更新する演算手段とを有する、景品交換システムとした。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明は、記憶媒体と、この記憶媒体と通信可能であり、遊技機に対応して設けられている情報処理装置と、各情報処理装置と通信可能に接続されている管理装置からなる景品交換システムであって、前記記憶媒体は、景品交換情報を記憶する景品交換情報記憶手段を有し、前記情報処理装置は、前記遊技機での遊技の結果、遊技者の保有となった遊技媒体数である持玉数を記憶する持玉数情報記憶手段と、当該持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数を上限として、景品交換に必要な交換遊技媒体数及び景品交換情報の入力を受け付ける入力手段と、前記持玉数情報記憶手段に記憶されている持玉数から、前記入力手段で受け付けた交換遊技媒体数を減算し、減算後の持玉数を前記持玉数情報記憶手段に記憶させる制御を行う制御手段と、前記入力手段で受け付けた景品交換情報を前記記憶媒体に書き込む書き込み手段とを有し、前記管理装置は、景品情報を記憶する景品情報記憶手段と、景品交換情報に基づいて、前記景品情報記憶手段に記憶されている景品情報を更新する演算手段とを有する構成とすることによって、持玉が計数データ化されている場合であっても、いわゆるワゴンサービスにおける景品交換処理を極力簡易な操作で行うことができ、便宜である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
制御手段１１は、例えば、CPU(Central Processing Unit)により構成することができる。特に、書き込み用情報記憶手段１６に、入力された景品交換情報を記憶させ、送信用情報記憶手段１８にユニット２の装置番号及び減算後の持玉数を記憶させる。また制御手段１１は、入力された交換遊技媒体数を受信し、持玉数情報記憶手段１０に記憶されている持玉数を呼び出して、当該持玉数から交換遊技媒体数を減算して減算後の持玉数を算出し、当該減算後の持玉数を持玉数情報記憶手段１０に更新して記憶させる。また、書き込み用情報記憶手段１６に記憶されている景品名等の景品交換情報をＩＣタグ１の景品交換情報記憶手段６に記憶させる。また、復帰時送信用情報記憶手段１７及び送信用情報記憶手段

１８からユニット２の装置番号と減算後の持玉数を呼び出して、サーバ３に送信する。また、種々の情報をユニット２の表示手段１３に表示させる。更に、復帰時送信用情報記憶手段１７に減算後の持玉数とユニット２の装置番号を記憶する。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
次に、景品交換システムＡの具体的な処理の流れを図４～図８を用いて説明する。まず図４に示すように、ユニット２の読み取り書き込み手段９にＩＣタグ１を翳すと、読み取り書き込み手段９はＩＣタグ１に記憶されている識別情報を読み取り(Ｓ１０１)、識別情報を受信した識別情報認証手段１５は、識別情報記憶手段１４に記憶されている各識別情報を呼び出して、受信した識別情報と一致するか否か認証する(Ｓ１０２)。認証の結果、一致した場合には、識別情報認証手段１５は、認証完了信号を制御手段１１に送信する。一方、不一致の場合には、識別情報認証手段１５はエラー信号を制御手段１１に送信し、再度ＩＣタグ１を読み取り書き込み手段９に翳す旨を表示手段１３に表示させる。次に、認証完了信号を受信した制御手段１１は、景品コードや景品名等の景品交換情報を入力する旨を表示手段１３に表示させる。その表示を見た遊技場の従業員等は、入力手段１２のテンキー等を用いて、景品名称、景品コード等の景品交換情報を入力する(Ｓ１０３)。景品交換情報の入力を受け付けると、制御手段１１は、書き込み用情報記憶手段１６に景品交換情報を記憶させる。そして制御手段１１は、当該景品と交換する対価として必要な交換遊技媒体数を入力する旨を表示手段１３に表示させる。その表示を見た遊技場の従業員等は、入力手段１２のテンキー等を用いて、交換遊技媒体数を入力する(Ｓ１０４)。交換遊技媒体数の入力を受け付けると、入力された交換遊技媒体数を受信した制御手段１１は、持玉数情報記憶手段１０に記憶されている持玉数を呼び出して、当該持玉数から交換遊技媒体数を減算して減算後の持玉数を算出し(Ｓ１０５)、当該持玉数を持玉数情報記憶手段１０に更新して記憶させると共に(Ｓ１０６)、減算後の持玉数を送信用情報記憶手段１８に記憶させる。また制御手段１１は、当該ユニット２の装置番号を送信用情報記憶手段１８に記憶させる。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
制御手段３９は、例えば、CPU(Central Processing Unit)により構成することができる。特に制御手段３９は、表示手段４２に種々の情報を表示させる。また景品コード、貸出レート情報、減算玉数をサーバ３３に送信する。更に、制御手段３９は、ユニット３２の持玉数から、受信した交換遊技媒体数を減算して、減算後の持玉数を算出する。更に、この減算後の持玉数を、持玉数情報記憶手段１０に更新して記憶させる。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
交換遊技媒体数を受信したユニット３２の制御手段３９は、持玉数と当該持玉数から交換遊技媒体数を減算する処理の実行の確認を求める表示を表示手段４２に表示させる。入力手段４１が遊技場の従業員等から処理の実行の入力を受け付けると（ステップＳ６０８）

、制御手段３９は持玉数情報記憶手段１０に記憶されている持玉数から交換遊技媒体数を減算して、減算後の持玉数を算出し（ステップＳ６０９）、減算後の持玉数を、持玉数情報記憶手段１０に更新して記憶させる。そして制御手段３９は、識別情報、景品コード、減算玉数(＝持玉数から減算した分の玉数)、交換景品数をサーバ３３に送信する（ステップＳ６１０）。